

# 要望書

## 鈴鹿四日市道路新規事業化について



令和元年 1 1 月

鈴鹿四日市道路建設促進期成同盟会

三重県鈴鹿市・四日市市を中心とした北勢地域は、**製造業**を中心に多様な産業が集積し、我が国の**経済・物流を支える拠点地域**となっています。

しかしながら、北勢地域を支える主要幹線道路の国道1号と国道23号において、慢性的に発生している渋滞は、**経済活動を阻害する要因**となり、**生活環境の悪化**にもつながっています。

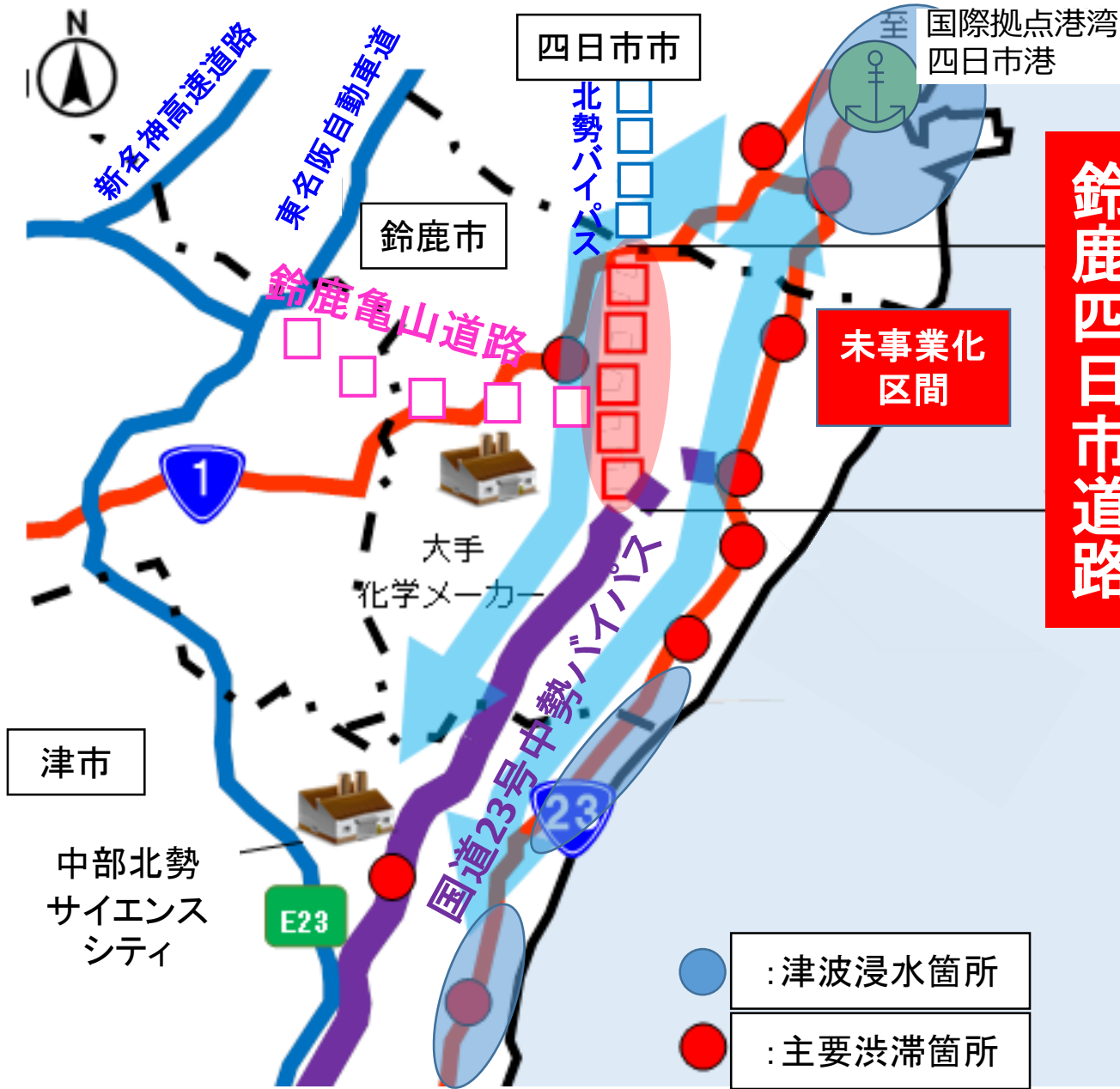
一般国道1号北勢バイパスは、平成4年度に事業化され、現在まで事業区間L=21.0kmのうちL=8.5kmについて供用されていますが、南側で中勢バイパスと接続する**鈴鹿四日市間L=7.5km**においては、**事業化に至っていません**。

一方、本年2月には、一般国道23号中勢バイパスL=31.0kmが繋がり、**残り鈴鹿(安塚)工区(4工区)L=2.8kmのみ**となりました。

このように、北勢・中勢の広域的な幹線道路網の構築が進む中、両バイパスを結び、現在三重県で都市計画決定に向けて手続きが進められている、「鈴鹿亀山道路」の起点となる「**鈴鹿四日市道路**」の**新規事業化**、**早期建設**は、**安定した経済活動や安全・安心な生活環境に寄与すること**と考えられます。

このようなことから、次の事項を強く要望します。

# 北勢バイパス・中勢バイパスをつなぐ道路であり、四日市港への定時性を確保する**鈴鹿四日市道路**

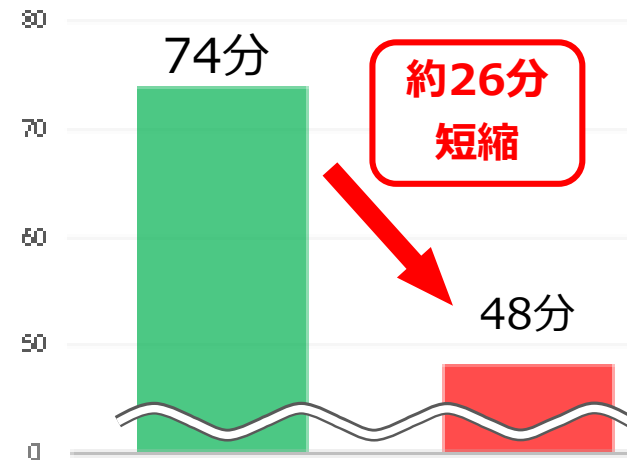


## 鈴鹿四日市道路の整備に伴う搬送時間の変化

【大手化学メーカーA社（鈴鹿市）】

■ 搬出時間の変化  
(事業場⇒四日市港)

■ 国道23号の渋滞状況  
(鈴鹿市内)

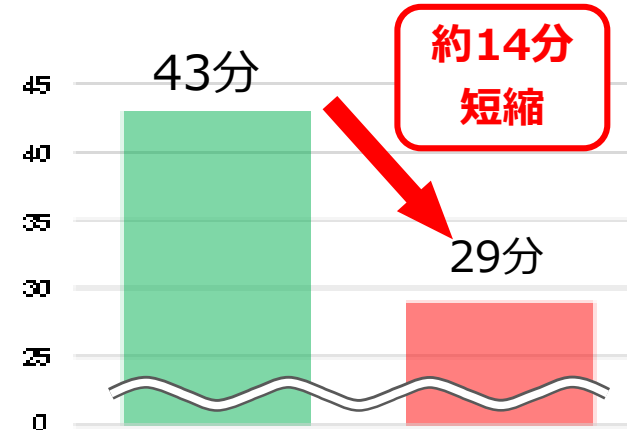


※H27道路交通センサスを基に三重県算出（非混雑時を想定）

【サイエンスシティ立地企業S社（津市）】

■ 搬出時間の変化  
(営業所⇒四日市市内)

■ 国道23号の渋滞状況  
(四日市市内)



※H27道路交通センサス、民間プローブデータ(H27年10月平日)を基に算出

農業生産資材の運送のため四日市方面への移動があります。**渋滞の解消**により輸送時間が短縮できると、社内作業時間を確保でき、**生産性向上**が期待されます。(S社ヒアリング)



四日市⇔鈴鹿⇔津間の南北主要幹線道路は国道23号のみ

**鈴鹿四日市道路の整備**

南北主要幹線道路の**ダブルネットワーク化**による**物流効率化、地域経済の活性化及び防災力の向上**

# 北勢・中勢地域の架け橋となる「鈴鹿四日市道路」シンポジウムが開催されました！

## 概要

**日時** 令和元年10月16日(水) 18:30~20:00

**場所** 鈴鹿市ふれあいセンター(ホール)

**主催者** 北勢・中勢地域の架け橋となる「鈴鹿四日市道路」シンポジウム実行委員会

**後援** 鈴鹿商工会議所、四日市商工会議所、津商工会議所



## 来賓



中部地方整備局  
局長  
**勢田 昌功 氏**

- 鈴鹿四日市道路によって北勢バイパスと中勢バイパスを結ぶことで大きなネットワークとなり、経済活動の活性化や、先般の台風19号のような災害時のリダンダンシーの確保において非常に大きな効果を果たす。
- 鈴鹿四日市道路は、北勢・中勢地域の明日につながる『架け橋』として欠かすことのできない重要な道路であると認識している。



## パネルディスカッション「鈴鹿四日市道路で広がる地域の可能性」

**コーディネーター** 高田短期大学 教授 (株)百五総合研究所 客員研究員 **中畑 裕之 氏**

○「防災・減災」に資する重要な三重県の「骨格」をつなぐ  
鈴鹿四日市道路の早期整備が必要

○鈴鹿四日市道路を中心としてまちづくりを促進  
○三重県の「空白地帯」から『中心地帯』に

- 今年の新名神高速道路や中勢バイパス開通で、定時性向上や時間短縮が県のイメージ向上につながったものの、現状では道路の空白地帯があることで骨格が繋がらず、緊急時の対応なども難しい現状にある。
- 今後整備が進むと地域の生産性も向上し、企業誘致やまちづくりの変化、防災や救急救命効果の改善につながる。



- 三重県の道路ネットワーク全体を見ると骨格となる道路網がまだまだ不十分であり、鈴鹿四日市道路をまずは事業化し、骨格を繋げていくことが地域の発展には重要である。
- くしの歯の機能を果たし、かつ広域防災拠点と連携できる鈴鹿四日市道路は三重県の重要な骨格となる。



三重県  
鈴木 知事

- 新名神鈴鹿スマートICは鈴鹿市の玄関口として、魅力的な観光資源の発信や、工業団地開発のきっかけとなり、道路整備による地域のポテンシャルの向上を感じている。
- 鈴鹿市が、三重県の道路ネットワークの「空白地帯」から『中心地帯』になれるよう、いっそう努めていきたい。



空白地帯  
鈴鹿市  
末松 市長

○北勢バイパス・鈴鹿四日市道路・中勢バイパスからなる「ダブルネットワーク」で「市内渋滞」の解消

○津含む南勢から北勢への『架け橋』になる鈴鹿四日市道路  
○バイパスの機能を発揮するためにも中勢BPの4車線化を

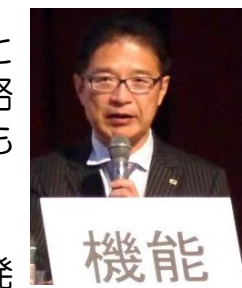
○三重県の道路整備は依然として道半ば  
○「生産性向上」「働き方改革」のため道路整備を

- 北勢バイパスー鈴鹿四日市道路ー中勢バイパスで形成されるダブルネットワークが整備されることで、通過交通が転換し、市内の渋滞の解消につながる。
- 背後圏の渋滞がネックだった四日市港のポートセールスも、さらに広がることを期待する。



ダブル  
ネットワーク  
四日市市  
森 市長

- 津市、さらに南勢地域と北勢地域との『架け橋』になる鈴鹿四日市道路の整備は非常に重要で、何としても必要である。
- つながった際に、物流・救急救命・防災の3つの機能（整備効果）を発揮するために、現在渋滞が発生している中勢バイパス津市内の4車線化も必要である。



機能  
津市  
前葉 市長

- トラック業界は、40歳代ですら若手にあたるほどのドライバー不足で、将来を不安視している。
- 企業努力では限界がきている。三重県における道路整備は十分とは言えず、トラック業界の働き方改革、生産性向上のために、鈴鹿四日市道路を含む道路整備を進めてほしい。




働き方改革  
三重県トラック協会理事  
同協会鈴鹿支部支部長  
加田 潔 氏

- 一、**鈴鹿四日市道路の令和2年度新規事業化を**  
お願いします。
- 一、**新たな財源を創設するなど、道路関係予算総額の拡大**  
をお願いします。

令和元年11月

鈴鹿四日市道路建設促進期成同盟会  
会 長 鈴鹿市長 末松 則子



### 鈴鹿四日市道路建設促進期成同盟会

会 長 鈴鹿市長 末松 則子  
副会長 四日市市長 森 智広

会 員	鈴鹿市議会	議 長	森 喜代造
	四日市市議会	議 長	諸 岡 覚
	一般社団法人 三重県トラック協会	鈴鹿支部長	加 田 潔
	公益社団法人 三重県バス協会	会 長	竹 谷 賢一
	一般社団法人 三重県タクシー協会	北勢支部長	長 野 成司
	A G F 鈴鹿株式会社	代表取締役社長	塚 本 祐司
	住友電装株式会社	鈴鹿製作所所長	久 志 本 敦司
	大日本住友製薬株式会社	鈴鹿工場 工場長	植 野 健司
	日本トランスシティ株式会社	専務執行役員	小 森 信弥
	株式会社 日本陸送	代表取締役社長	重 盛 真治
	富士電機株式会社	鈴鹿工場 工場長	安 部 浩司
	株式会社ホンダロジスティクス	三重事業所 所長	安 藤 喜芳
	株式会社モビリティランド	取締役 鈴鹿サーキット総支配人	塩 津 宏幸
	新名神と鈴鹿亀山地域の幹線道路整備を進める会	会 長	田 中 彩子
	鈴鹿市自治会連合会	会 長	水 野 克則
	石薬師地区明るいまちづくり協議会	会 長	熊 沢 逸雄
	牧田地区地域づくり協議会	会 長	中 川 悟夫
	夢あるまちづくり協議会	会 長	岩 波 正彦
	河曲地区地域づくり協議会	会 長	萩 義彦
	飯野地区地域づくり協議会	設立準備委員会 会 長	太 田 孝美
	玉桜まちづくり協議会	設立準備委員会 委員長	水 野 克則



R1.9.20 鈴鹿四日市道路建設促進期成同盟会 第1回総会



R1.10.16 北勢・中勢地域の架け橋となる  
「鈴鹿四日市道路」シンポジウム